

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	悪気がなく話している言葉がスピーチロックに該当しているかどうか気づきにくい。	全職員が身体拘束廃止(特にスピーチロック)に強い意識を持って取り組む。	身体拘束廃止委員だけではなく、全職員が自分も身体拘束廃止委員だと思ってケアにあたり、自分の発言を振り返ると共に、スピーチロックに当てはまるような発言を耳にした時は、その場で気づいてもらえるように伝え合える関係性の構築に努める。	12ヶ月
2	40	本人本意ではなく、職員都合になっていないか振り返りが必要である。	思いを伝える事が難しい方でも、自己決定できるように支援する。	拒否のある方でも、まずは「〇〇しませんか？」と声かけを行い、何故拒否があるのかご本人の立場に立って考え、思いに寄り添いながら関わっていく。 自己決定できる声かけの仕方を工夫し、思いの尊重を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。